

一般質問

たばた議員

(1) ファミリーサポート事業について

ファミリーサポート事業は、市がカバーしきれない子育て支援のニーズを補っている有償ボランティアである。利用者からは、金銭的な負担はあるものの、サービスがあって助かっている等の声のとどいている。他方で、全治1か月以上の重篤な事故が8都道府県で15件発生していたことを厚生労働省が公表した。さらに、万一事故などが起こった場合の対応が十分でないとの指摘がある。子育て支援の一環として重要な役割を担うファミリーサポート事業の充実を求め、以下質問する。

サービス提供会員への講習は十分行われているか。

万一事故が起こった場合の責任の所在は。

(2) 原発事故に関する市の対応について

今年3月に起こった福島第一原発での事故は、廃炉まで30年とも言われ、いまだ収束のめどが立っていない。本市でも、この事故による放射能被害を心配する声が市民から出されている。そうした声にこたえ、日本共産党市議団としても市や東京都に対し要望書を提出し、議会でも取り上げてきた。この度ようやく測定箇所を公共施設の側溝や植え込みなどにも広げたことは、前進と受け止め評価している。しかし、いまなお広がりを続ける事故の影響に対する市民の不安を払しょくするために、さらに必要な手立てをとるべきと考え、以下質問する。

放射能測定の測定場所を増やすに至った経緯と、今後の対応は。

国が決めている食品の暫定規制値は、国際標準からみても高すぎる。給食および農産物等、食の安全を守るために、市独自の基準を設け、検査を行う努力をすべきと考えるが、市の考えは。

(3) 学校施設整備について

市内の小中学校の施設・設備が老朽化しているとの市民の声を受け、先日、日本共産党あきる野市議団は小中学校の視察を行った。各学校では、校舎や設備などを大切に使い、工夫もしていたが、限界がある。こどもたちの学習環境を守るための手立てが必要である。

多くの学校が築40年を迎えており、老朽化が目立っている。早急な改修が求められていると考えるが、市の計画は。

夏の熱中症対策として、教室へのエアコンの設置を求める陳情が市民から出され趣旨採択された。また、議会からは東京都に対し補助金の延長を申し入れる意見書をあげている。市としても、東京都に対し補助金の延長を申し入れたと聞いているが、その後の状況は。